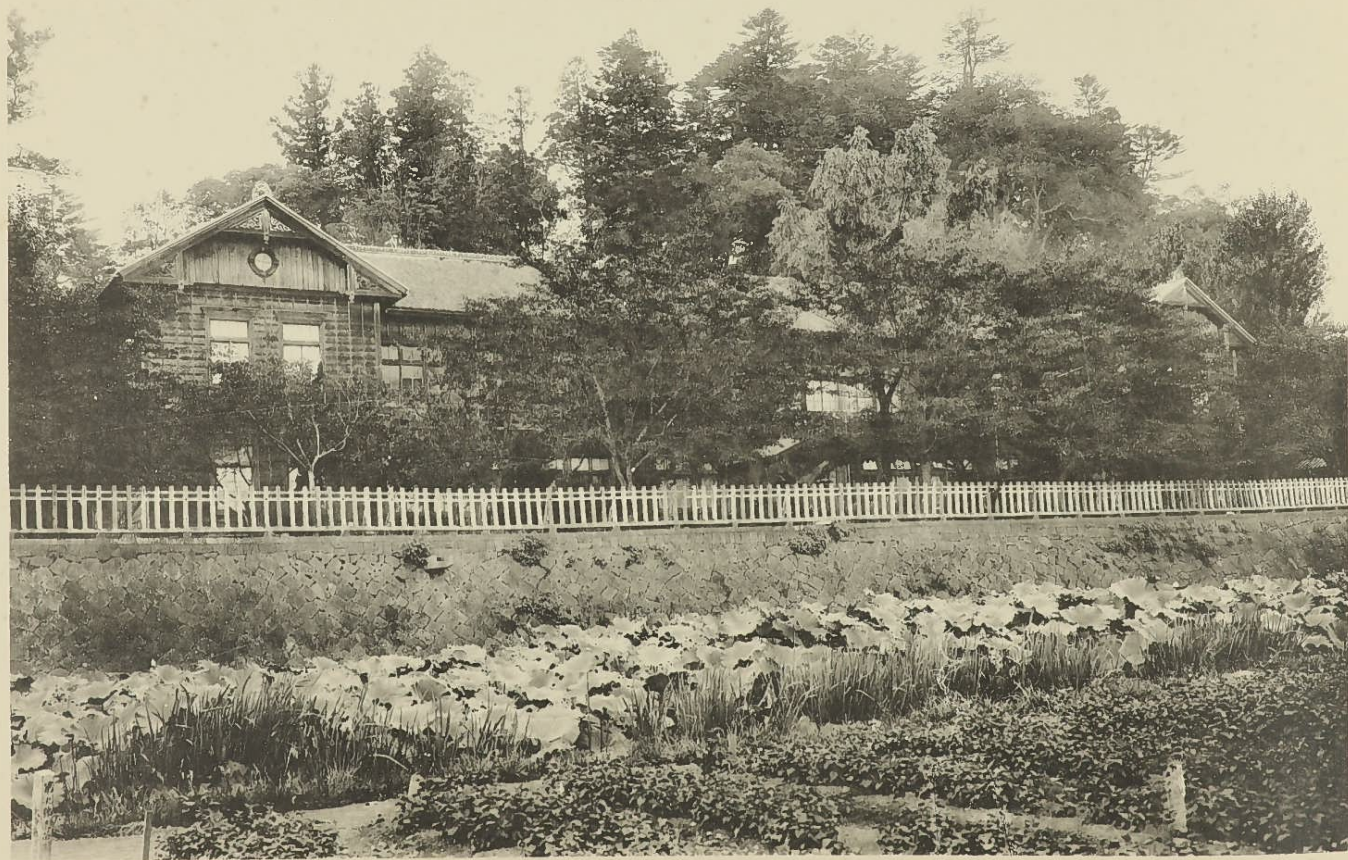


大分縣立農林學校

日田郡日田町なる慈眼山の麓に建設せられ、眺望頗る佳なり、明治三十四年の創立にして、敷地四千三百坪、附屬地十五萬坪を有し、建物一千一百坪なり、森林科、養蠶科、及養蠶別科に分ち、生徒百八十名、七學級に編成せり。





四日市尋常高等小學校

宇佐郡四日市町大字四日市にあり、明治三十四年の建築にして、全町兒童約六百を收容し、十三學級に編成するを以て、適度の規模と稱せらる、郡の中心に當り、諸事能く整頓せり。





大分縣立病院

大分市街の西端に在り、内、外、眼、耳鼻咽喉科、及産科婦人科の五部を設置し、名聲甚た高し、初め明治十三年創設せしか、二十二年大分縣醫學校の廢止と共に閉院、三十二年再び開院す、爾來年々規模を擴張し、四十四年改築を施し、設備整頓して遺憾なきに至れり。





大分縣物産陳列場

別府公園地域に在り、別府市街を瞰下して、山紫水明の景勝を縦にす、明治四十年大分町に創設せしか、大正五年此の地に新築移轉す、敷地一千四百五十坪、建物四百二十坪、和洋折衷の十二棟より成る、縣下の生産品、及參考品を陳列して、公衆の縦覽に供し、又委託販賣、生産品の調査、取引紹介等、本場を利用する者日々に増加し、産業上の好機關となれり。





大分縣農事講習所

大分市街の東端に建設せらる、明治四十一年の創立にして、農事の試験、農事の指導獎勵、農事講習生の養成を爲す、既に長期講習を卒へたる者四百三十人に及び、其他蠶種製造、柑橘試験、米麥品種改良、種子配布等、農業改良上に寄與する所甚な多し。





大分縣種畜場

明治三十八年の創立にして、直入郡九重山の南麓海拔二千五百尺の高原に在り、面積三百五十餘町歩を有す、種牡牛馬の種付、候補種牛馬の育成、飼糧栽培、並に畜産に關する實地指導の事を經營す、現在百數十頭の牛馬を繋養せり。

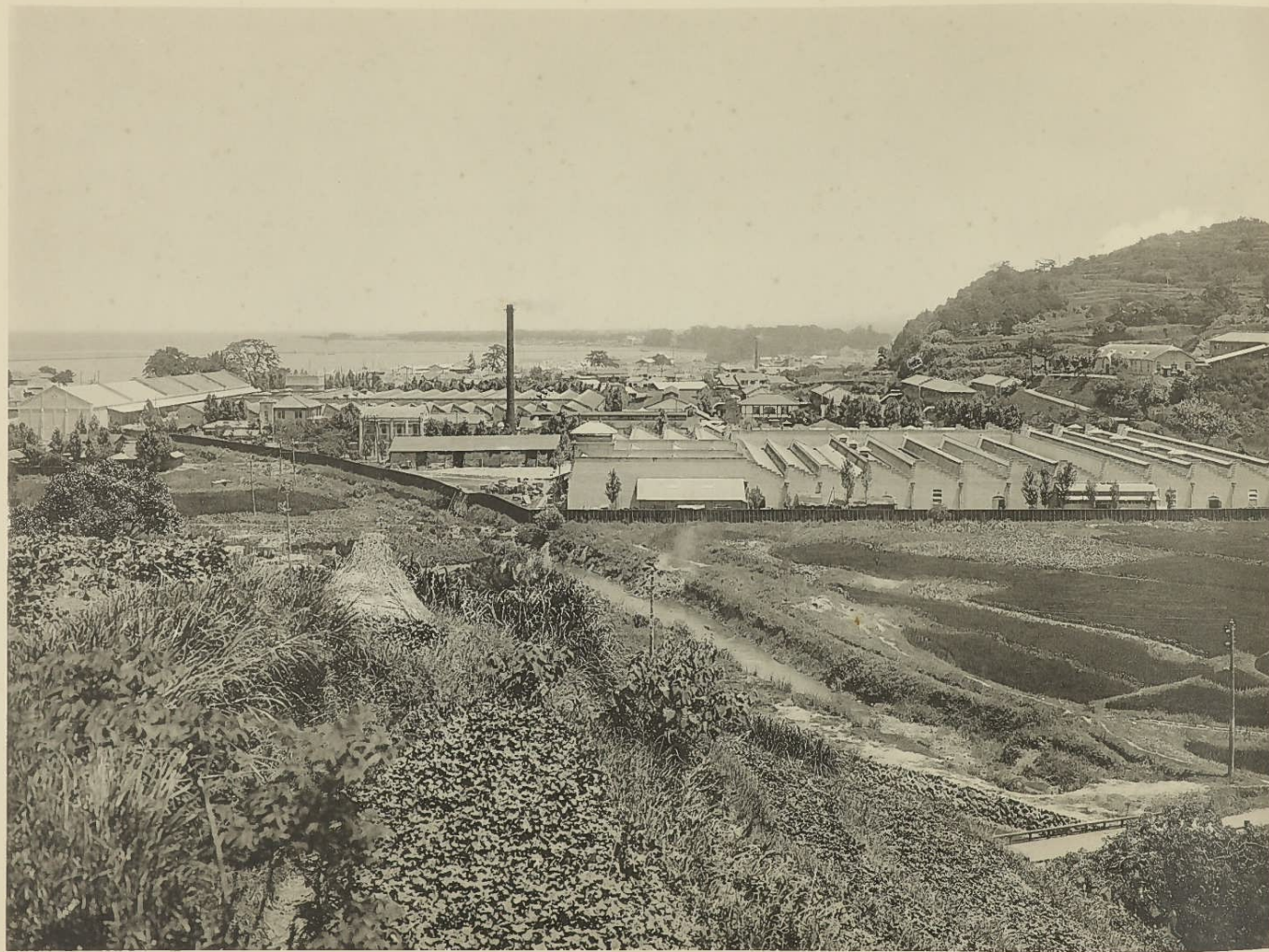




大分紡績株式會社

明治四十五年、資本金百五十萬圓を以て創立し、大正二年十月より運轉を始め、同六年に至り資本金を三百萬圓に増加す、大分港の埠頭に位置するのみならず、鐵道西大分驛に隣接するを以て、海陸の運輸甚た便なり、敷地四萬九千坪、職工二千八百人、六萬四千錠、一箇年の製産額二萬五千餘梱なり。

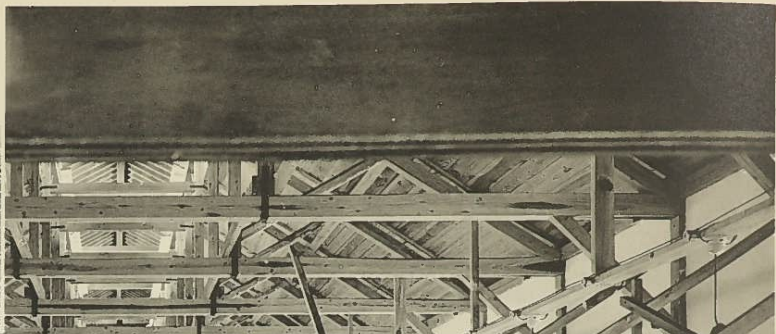




大和組豊後製絲場

大分市上野町にあり、本店は信州諏訪郡川岸村にして、組長片倉島吉氏の管理する所たり、全國六箇所の工場を有す、當製絲場は現在益數七百二十、製産年額一萬六千貫に達す、上圖は同場外部の光景なり。





片倉組製絲紡績株式會社大分製絲所

大分市街の南方に在り、大分驛を距る三町、敷地六萬五千餘坪、建物六十二棟、一切の設備間然する所なく、頗る壯大を極む、大正六年始めて操業し、益數七百二十、男女従業員一千二百名、毎年生繭三十萬貫を消化し、輸出生絲三千梱に達す、本所は元々信州片倉兼太郎氏の所有全國二十有餘工場中の一なりしか、大正九年資本金五千萬元の株式會社に變更して、現今の名稱となれり、上圖は同所内部の光景なり。

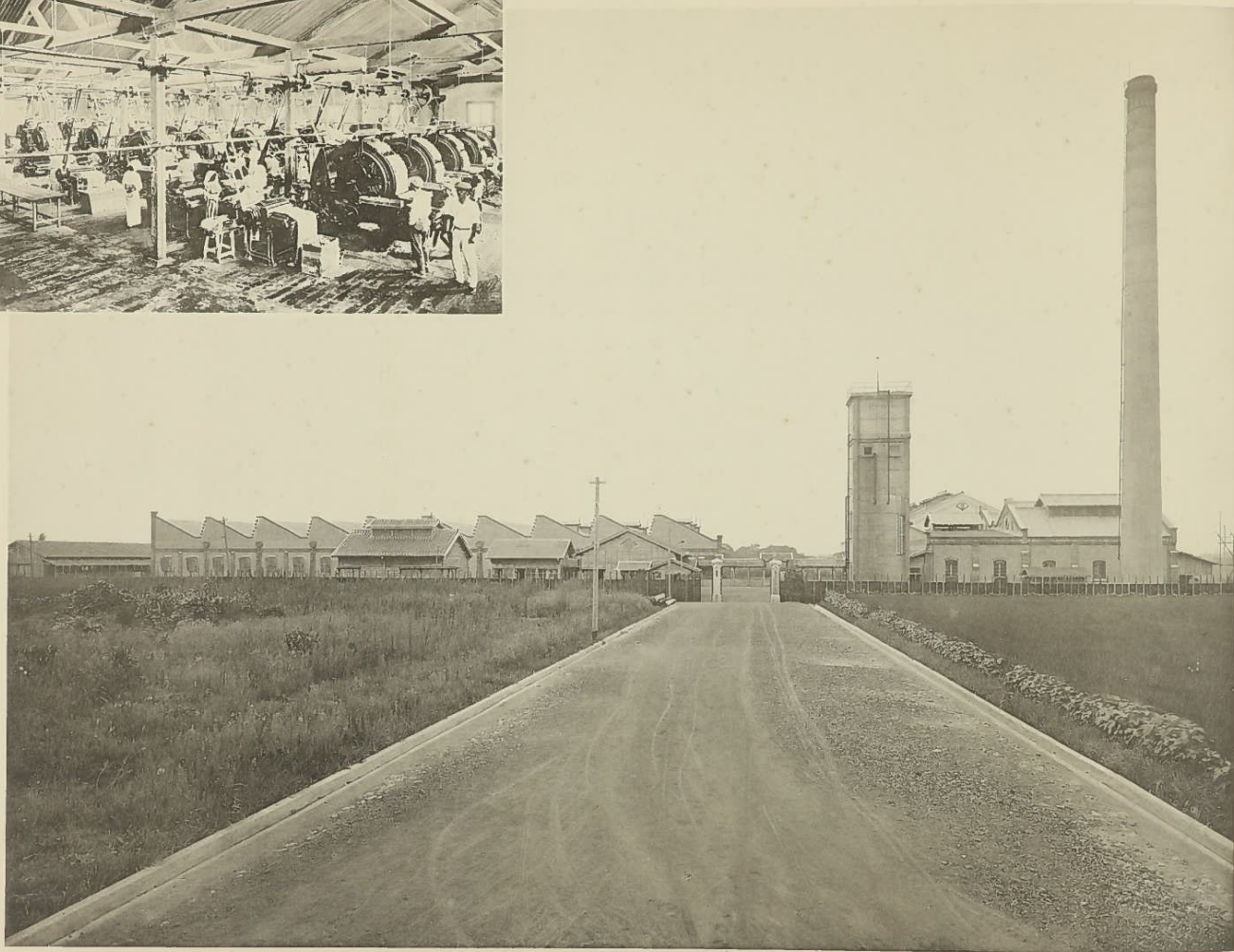
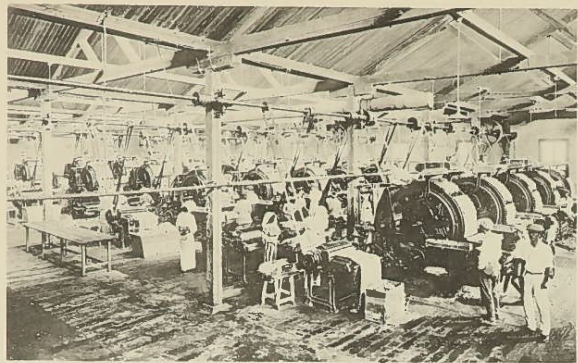




中津絹絲紡織株式會社

豊州本線中津驛の北三町の所にあり、中津舊藩主奥平伯以下町内有志者の發起に係り、資本金百五十萬圓を以て大正七年六月創立し、八年四月より運轉を開始せり、縣下唯一の絹絲紡織所にして、工場敷地二萬餘坪、建物一千三百坪、男職工四百名、一箇年貳拾萬斤の柞蠶ペニを製産し、全部米國に輸出しつゝあり、上圖は其の工場内部の光景なり。

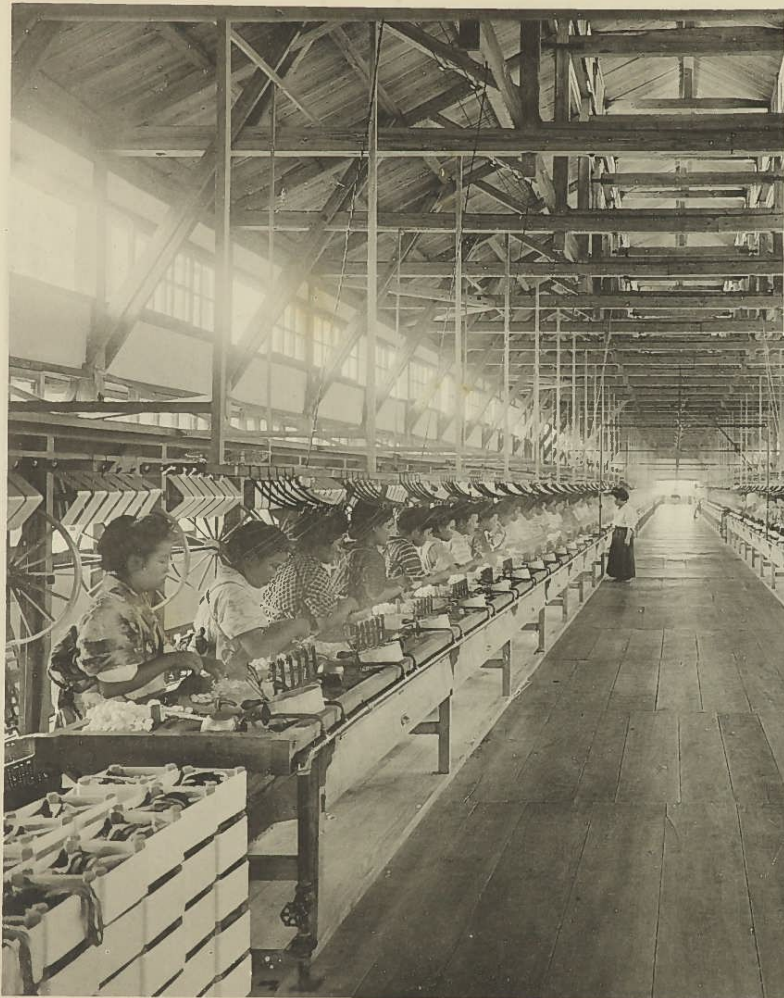




豊中製絲株式會社

下毛郡豊田村に在り、明治二十九年の創立に係
る、三十一年廣末製絲會社を合併し、三十五年宇
佐郡柳ヶ浦製絲會社を買収して分工場とし、四
十二年西國東郡高田町に分工場を新設せり、現
在資本金百萬圓、繰絲釜數七百八十、職工千餘人、
年額生絲十萬斤、屑物二萬斤を産出す、上圖は同
社外部の光景なり。





成清鑛業株式會社馬上山

官線立石驛より、東南十八町、中山香驛より、西北二十町の距離に、金山鑛業所あり、明治四十年故成清博愛氏の創業に係りしか、現今株式組織に改む、此の附近一帶金鑛脈連亘して、廣大なる鑛脈を成し、鑛量の豊富と、含金量の高き點に於て斯界獨歩と稱せらる、毎月採鑛量百萬貫に近し、一箇年採鑛金額數百萬圓に達すと云ふ。

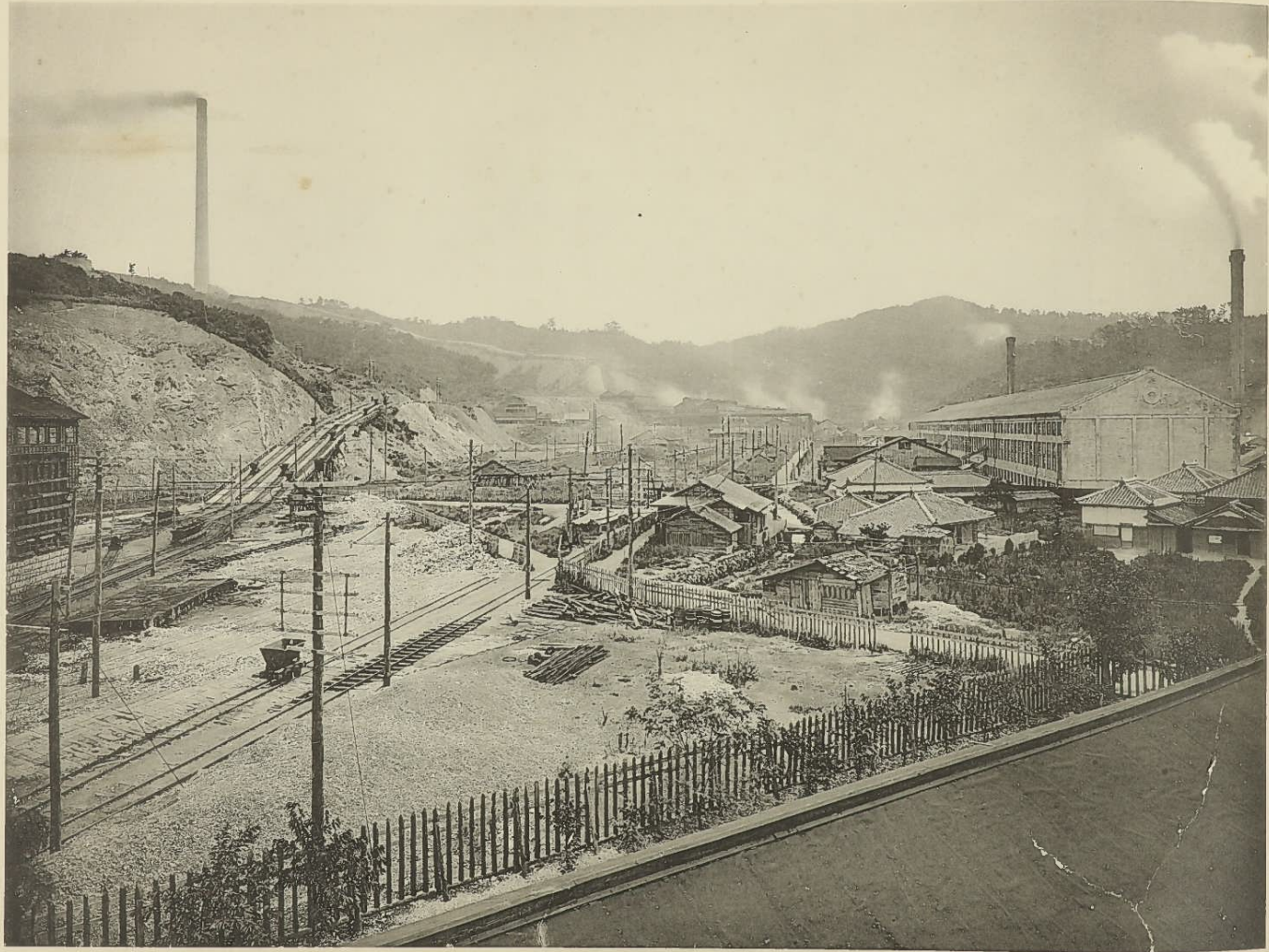




久原鑛業株式會社佐賀關製煉所

北海道郡佐賀關町に在り、佐賀關港に臨める廣
濶なる溪間丘陵を利用して建設し、海陸運搬至
便の位置を占む、大正五年二月起工し、翌六年三
月には早くも全部操業を爲すに至る、爾來本邦
西部に産出する鑛物は、多く當所に吸収し處理
製煉せらる、従業人員約千五百人、鑛産額は金、銀、
銅を通して、一千六百萬圓に及ぶ。





大分セメント株式會社

北海部郡青江村に工場を設く、原料豊富にして、加ふるに海陸の運輸至便なるを以て、頗る有利の位置を占む、資本金三百萬圓、大正七年會社を創立し、翌八年十二月より操業す、一箇月産額二萬五千圓、草創時代の成績としては極めて良好と謂ふへし。





大野製絲株式會社

大野郡井田村に在り、明治三十九年個人の經營を以て創立し、大正六年株式組織に變更す、資本金五十萬圓、益數五百箇、職工八百人、一箇年原料繭七萬五千貫を需用す。





九州水力電気株式会社女子畑発電所

日田郡中川村に在り、筑後川の上流、玖珠川の水
利を使用して電力を起す、明治四十五年起工し、
大正三年竣工せる有名の大工事たり、九水會社
の有する全發電力中、約四分の一、即一萬五千キ
ロワットは實に此の所に於て發電せらる、會社は
明治四十四年の創立にして資本金三千五百萬
圓、現今二豐兩策に涉りて電力を供給しつゝ、あ
り、上圖は同會社大分營業所の光景なり。

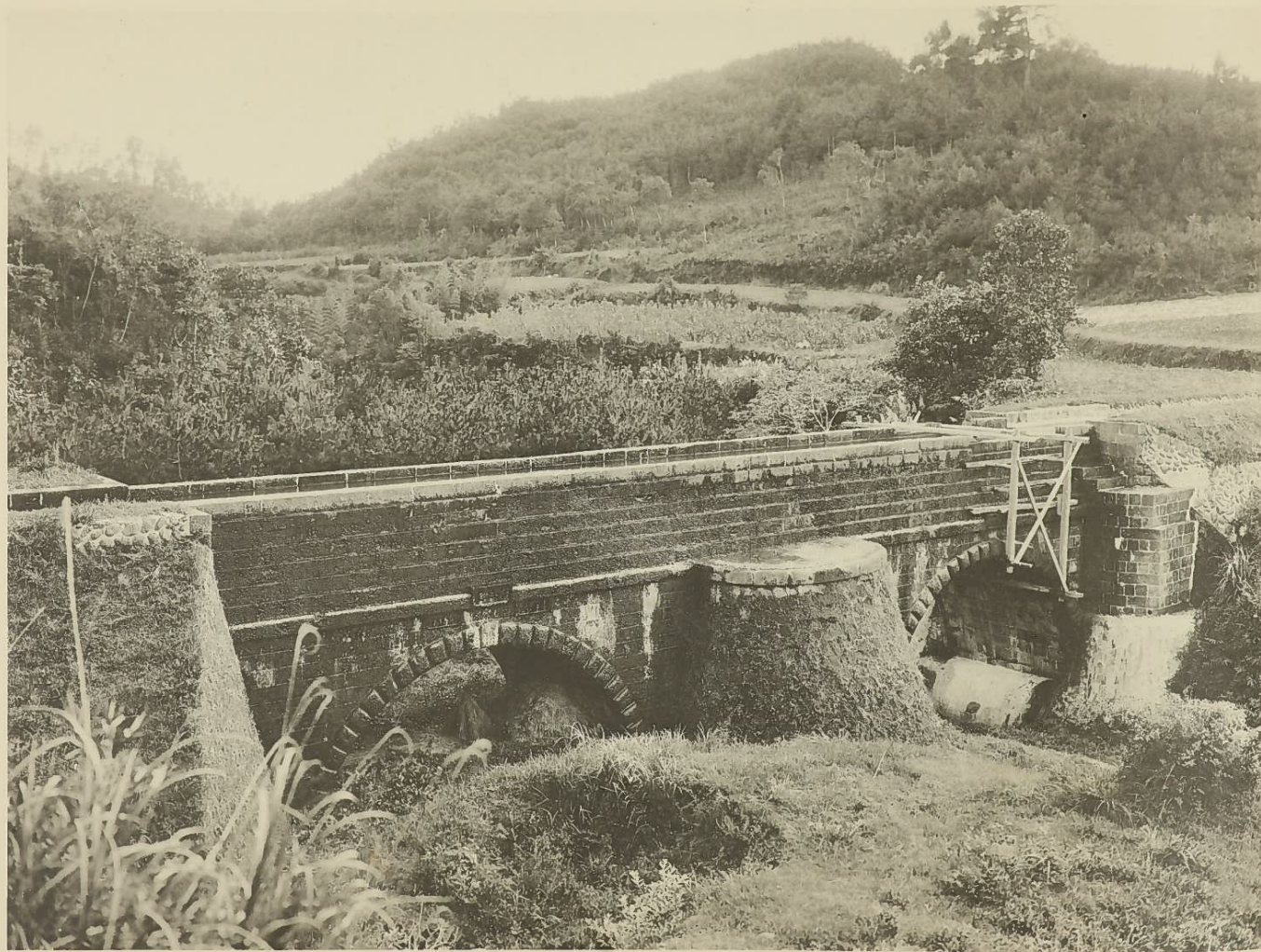




明治大分水路普通水利組合

大分郡大分川の水を堰きて、東植田、瀧尾、東大分、日岡、桃園、明治、別保の諸村八百八十餘町歩を灌漑し、模範水利組合と稱せらる。明治六年議初めて起り、十三年實測設計に著手せしか、爾來幾多の曲折を経て、明治三十年に至り始めて工を起し、三十三年五月竣工通水す、本線八里十四町、支線十里二十町、事業費總額三十二萬圓を要せりと云ふ、茲に撮影せるは平横瀬隧道水路なり。





竹細工

別府町に於ける竹細工は、往時既に小規模の製作ありしと雖、其の特産の名を博したるは、近く明治三十五年別府工業徒弟學校に竹籃の一種を設けたるに始まり、風趣ある實用品にして、世の嗜好に適するの故を以て、技巧の進歩と共に益々價を得、現今製作所數十箇所、職工約四百人に及び、年産額三十餘萬圓に達するの盛況を呈せり。





大分縣模範林

造林の範を示し、其の事業を獎勵せん爲、明治三十五年度より大正四十年度迄に、千四百七十五町歩を六事業區に分ちて植栽せんとするものにして、既栽面積六百七十七町歩に及ぶ、茲に撮影せるは、國東半島の中央兩子山の中腹なる兩子事業區に屬す、東、西、國東郡に跨り、面積二百十三町歩、植うるに杉、扁柏、松、櫟を以てし、防火線を設け、監守人を置き、下刈、間伐等の方法全備し、其の成績最も良好なり、兩子寺に詣つる者必ず途を此に取り、其の偉觀を賞せざるなし。





蘭
田

本縣特有農産物の主要なるものにして、東國東
郡、速見郡、大分郡を主産地とす、一箇年産額二百
五十萬貫、價額三百四十萬圓に及ぶ、茲に撮影せ
るは東國東郡安岐の蘭田なり。



